

1. 科目名 (単位数)	日本語学Ⅳ (文字・表記) (2 単位)	3. 科目番号	EJJP2324
2. 授業担当教員	佐藤 仁美		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	日本語の文字・表記は日本語学習者にとって最も難しいと言われる。文字・表記を合理的に教えるためには、日本語の文字・表記に関する知識が不可欠である。本講座では、漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字など日本語の文字の一般的な知識を得ると共に、日本語の表記法についても学ぶ。		
8. 学習目標	1. 漢字の構成を理解し説明できるか。 2. 漢字の訓読みや音読みについて理解できたか。 3. かなの歴史的背景が理解できたか。 4. ローマ字の表記についての知識が得られたか。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	・各回の授業でワークシートを配布する。ワークシートには授業の進行に合わせて書き込む部分と、事後学習で改めて理解したことや、まだ理解できていないこと、自分の考えなどを書く部分がある。次回の授業開始時まで完成させ、提出すること。 ・レポートは期日までに提出すること。 レポートテーマは「日本語の表記に関する問題」とし、各自でサブテーマを設定すること。(例:「外来語の日本語表記について」「非漢字圏学習者の漢字学習について」など)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】高見澤孟監修『新・はじめての日本語教育1 増補改訂版』アスク出版、2016。 【参考書】高木裕子『日本語の文字・表記入門』バベルプレス、1996。 沖卓也 他『図解 日本の文字』三省堂、2011。 宮地裕、甲斐睦朗監修『日本語学 vol. 34-5 4 月臨時増刊号 漢字の指導法』明治書院、2015。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 漢字の構成を理解し説明できるか。 2. かなやローマ字の表記についての知識が得られたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・授業態度 総合点の30% 2 期末試験 総合点の30% 3 課題 (レポート、ワークシート)・小テスト・発表 総合点の40% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	日本語は漢字・平仮名・カタカナ・ローマ字と、多様な書き方ができる珍しい言語である。日本語の文字にはどのような表記の規則があるのか、またどのような問題を持っているのか、歴史的背景と日本語教育の現場における学習と指導の様相を含めて学んでいく。日本語の指導者として、あるいは日本語の学習者として、など主体的視点をもって日本語の文字・表記の問題について考えて欲しい。		
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 「文字」「表記」とは何か 音声言語と文字言語 文字の分類 日本語の文字 日本語の文字表記法の学習・指導	事前学習	これまで学習した外国語の文字と母語の文字には、どのような違いがあるか考える。身の回りにある印刷された文字を観察し、特徴の違いについて考える。
		事後学習	「音声言語と文字言語」「文字の分類」等について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第2回	第4章 文字・表記 漢字の起源と変遷 1. 常用漢字表について Ⅰ 字体の問題 Ⅱ 常用漢字表	事前学習	pp. 132~137 を読み、要点を理解する。
		事後学習	「字体の問題」「常用漢字表」について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第3回	2. 漢字の筆順 漢字の構成 漢字の字音	事前学習	pp. 138~139 を読み、要点を理解する。
		事後学習	漢字の「筆順」「構成」「字音」について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第4回	漢字文化圏の形成と多様化 漢字表記法の学習・指導	事前学習	漢字圏の形成と多様化、中国・韓国・朝鮮の漢字、漢字表記法の学習と指導に関する配付資料を読み、要点を理解する。
		事後学習	「漢字文化圏」「漢字表記法の学習・指導」について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。

第5回	3. 送り仮名のつけ方 日本語教育の文法用語 I ルール 1 活用のある語 II ルール 2 活用語尾以外の部分に他の語を含む語	事前学習	pp. 140～142 を読み、要点を理解する。
		事後学習	「日本語教育の文法用語」、送り仮名の付け方ルール 1 と 2 について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第6回	3. 送り仮名の付け方 III ルール 3 活用のない語 IV ルール 4 活用のある語から転じた名詞 V ルール 5 副詞・連体詞・接続詞 VI ルール 6 複合の語 VII ルール 7 送り仮名をつけない名詞	事前学習	pp. 143～146 を読み、要点を理解する。
		事後学習	送り仮名の付け方ルール 3～7 について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第7回	4. 現代仮名遣い I 原則的なきまり II 慣習による特例	事前学習	pp. 147～151 を読み、要点を理解する。
		事後学習	「現代仮名遣い」について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第8回	5. 外来語の表記 I 外来語表記の仮名と符号の表	事前学習	pp. 152～153 を読み、要点を理解する。
		事後学習	外来語の表記「仮名と符号の表」について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第9回	5. 外来語の表記 II 留意事項 外来語表記法の学習・指導	事前学習	pp. 154～155 を読み、要点を理解する。
		事後学習	外来語の表記「留意事項」、外来語表記の学習・指導について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第10回	6. ローマ字の表記 明治初期までと明治以降のローマ字 I 直音と拗音の表記 II 撥音の表記 III 促音、長音の表記 IV 分かち書き	事前学習	pp. 156～158 を読み、要点を理解する。
		事後学習	「ローマ字の表記」について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第11回	7. くぎり符号・くり返し符号・横書きの書き方	事前学習	pp. 159～162 を読み、要点を理解する。
		事後学習	「符号」と「横書きの書き方」について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第12回	文字生活・表記と社会 辞書・辞典の選び方 日本語ワープロでの表記 文字遊び ピクトグラム	事前学習	p. 163 を読み、辞書・辞典の選び方について要点を理解する。
		事後学習	「文字生活」と「表記と社会」について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第13回	日本の文字の歴史 1. 表意文字・表音文字 2. 日本語の文字の誕生 I 漢字	事前学習	pp. 164～166 を読み、要点を理解する。
		事後学習	日本の文字の歴史「表意文字・表音文字」、日本語の文字の誕生「漢字」について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第14回	日本の文字の歴史 2. 日本語の文字の誕生 II 万葉仮名・平仮名・片仮名 III ローマ字 3. 漢字に関わる知識	事前学習	pp. 166～174 を読み、要点を理解する。
		事後学習	日本の文字の誕生「万葉仮名・平仮名・片仮名」「ローマ字」、「漢字に関わる知識」について、ワークシートを完成させながら復習し、理解を深める。
第15回	第14回ワークシートの解説 漢字・現代仮名遣い・外来語を中心とした既習項目の要点復習	事前学習	ワークシートを使って、これまで学んだ内容について復習する。
		事後学習	期末試験に備え、ワークシートを使って既習項目を復習する。
期末試験			